

# はばたけ未来へ！ <sup>みやこ</sup>京プラン

## 後期実施計画（骨子）

～皆様の御意見をお聞かせください～

「はばたけ未来へ！ 京プラン」は、多くの市民の皆様と共に描いた「京都の未来像」とその実現に向けた10年間のシナリオを掲げた基本計画です。

来年度（平成28年度）からは、京プランの後半期がスタートします。

「未来像実現のため、今後5年間は何を重点に取り組んでいくべきなのか。」前半期と同様、市民の皆様と御一緒に京都の将来を考え、具体的な取組を盛り込んだ「実施計画」を練り上げていきたいと考えています。

この後期実施計画（骨子）は、そのたたき台として作成しました。

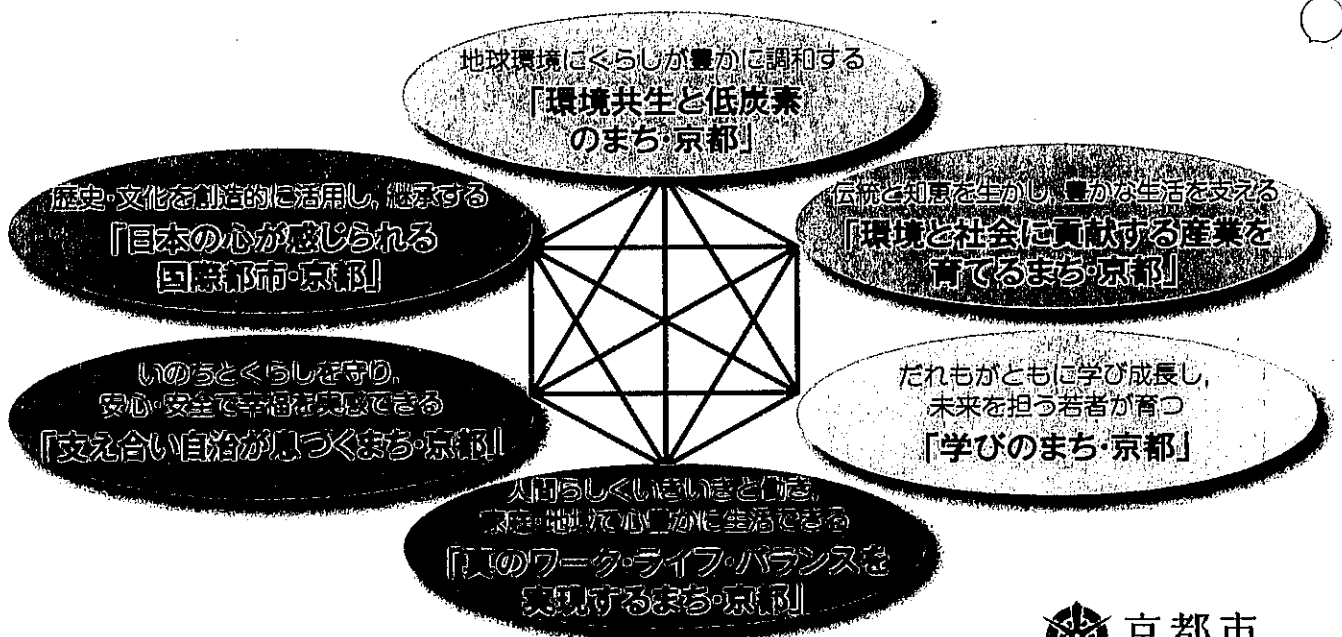
ぜひ、骨子を御覧いただき、御意見をお寄せください。

皆様からいただいた御意見や市会での御議論を踏まえ、更に検討を重ねて、平成27年度内に策定する予定です。

【募集期間】平成27年11月24日（火）～12月24日（木）〔必着〕

【提出方法】郵送・FAX・ホームページ（詳細は76ページを御覧ください。）

### 6つの京都の未来像



## 重点プロジェクト

### 1 公共交通機関の乗継利便性の向上

京都駅南口駅前広場整備事業、阪急電鉄及び京福電気鉄道の西院駅の再整備、ICカードの普及拡大など、公共交通機関の乗継利便性を向上させる。

### 2 安心・安全な歩行空間創出の推進

多くの市民・来訪者が利用する細街路における自動車交通を抑制した「歩いて楽しいまち」の整備、東大路通等での歩行環境の改善により、安心・安全で快適な歩行空間を創出する。

### 3 パークアンドライドの充実をはじめとした自動車流入抑制策の推進

通年型パークアンドライドの更なる充実、観光シーズン等の道路の混雑の激しい地域における交通規制のあり方やロードプライシングの研究など自動車流入抑制策を推進する。

### 4 地域の特性に応じた自転車利用環境の整備

重点地区における幹線道路への自転車走行推奨帯や、細街路への路面表示（ピクトグラム）等の整備を行うとともに、駐輪場の更なる設置を促進するなど、地域の特性に応じた自転車利用環境を整備する。

## 戦略を推進する4つの柱

### 柱1 既存公共交通の再編強化

- ① 関空へのアクセス改善も含めたりニア中央新幹線や北陸新幹線の誘致推進による広域交通網の充実
- ② 地域住民、区役所・支所、交通事業者等との協働で進める交通不便地における公共交通の維持・確保
- ③ 公共交通を核としたまちづくりの推進や地域・企業・大学等との連携など地下鉄・市バス等の増客に向けた全市的取組の推進
- ④ 徹底した事故防止の取組等による市バス・地下鉄の安全性の更なる向上
- ⑤ 市バスの路線・ダイヤの充実やICカードサービスの拡大等による市バス・地下鉄の利便性向上
- ⑥ 地域・事業者の協力によるバス待ち空間「バスの駅」や接近表示器等の整備促進によるバス待ち環境の向上
- ⑦ 地下鉄の駅ナカビジネス等の積極的な展開による駅の魅力向上と賑わいの創出

## 柱2 安心・安全で快適な歩行空間を確保し、公共交通を優先するまちづくり

---

- ① LRT<sup>※3</sup>、BRT<sup>※4</sup>などの新たな公共交通の検討
- ② 駅と周辺道路のバリアフリー化による安全で快適な歩行空間ネットワークの形成
- ③ 役割を終え、老朽化した横断歩道橋の撤去による歩行者優先の道路づくり  
—別掲・再掲事業—
- ④ ひと・ものの交流促進とまちの持続的成長を支えるための道路整備の推進<P50>
- ⑤ 無電柱化などによる道路景観の向上<P19>

## 柱3 歩いて楽しいくらしを大切にするライフスタイルへの転換

---

- ① 「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発
- ② 地域等と連携して公共交通機関の利用を促し、ライフスタイルの転換を図る  
モビリティ・マネジメントの推進  
—別掲・再掲事業—
- ③ 「DO YOU KYOTO?」の推進を通じた環境にやさしいライフスタイルへの転換<P12>

## 柱4 歩行者と自転車が共存するまちづくり

---

- ① 安心・安全で便利な京都式レンタサイクル検討委員会の設置 新規
- ② らくなん進都の地区内におけるレンタサイクル社会実験の実施 新規
- ③ 自転車安全利用教育プログラムの構築など自転車のルール・マナーの周知・啓発 新規

※3 LRT (Light Rail Transit) : 次世代型路面電車とも呼ばれ、従来の路面電車に比べ振動が少なく、低床式で乗降が容易であるなど、車両や走行環境を向上させ、ひとや環境にやさしく経済性にも優れている公共交通システム

※4 BRT (Bus Rapid Transit) : 輸送力の大きなバス車両の投入、バス専用レーンや公共車両優先システム等を組み合わせた環境にもやさしい高機能バスシステム

## ② 「いきいきと働ける場を得る機会」の実感度

(市民生活実感評価の「働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある」  
で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合の合計)

11% (23年度) ⇒ 14% (27年度) ⇒ **目標** 28% (32年度) 【27年度から倍増】

## ③ 京都府の不本意非正規雇用比率

(京都ジョブパーク調査で、府内の非正規雇用者のうち不本意に非正規を選択したと回答したひとの割合)

21.7% (25年度) ⇒ 18.0% (26年度) ⇒ **目標** 目標値は検討中

※目標値は、国が平成28年1月に策定予定の「正社員転換・待遇改善実現プラン」での目標を踏まえて設定

## 重点プロジェクト

### 1 中小企業の働き手・担い手確保支援の推進

中小企業の魅力を体感できる、企業情報発信 web サイトの充実や職場体験、学生などと企業との交流会の実施などの効果的なマッチング支援に取り組み、中小企業が必要な働き手・担い手を確保できるよう支援する。

### 2 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業の推進

農家を志す若者の就農支援や、すべてのひとが親しめる伝統産業製品の開発・販売など、ビジネスの手法で様々な社会的課題の解決を図ろうとする企業に対し、認定制度の運用による社会的信用の付与や産学官金の連携による各種サポート策の充実を図る。

### 3 京都発ベンチャー企業や知恵産業企業の創出と中堅企業への成長の促進

京都発のベンチャー企業の創出を図るとともに、経営面・技術面での総合的な支援により中小・ベンチャー企業の競争力を高めることで、グローバル・ニッチ・トップ企業など世界に羽ばたく中堅企業への成長を促す。

### 4 グリーン、ライフサイエンス、コンテンツなど京都が強みを持つ成長分野における新事業の創出

グリーン（環境・エネルギー）やライフサイエンス（医療・健康・福祉）、コンテンツ（マンガ・アニメ・ゲーム）といった成長分野において、産学公が連携して研究開発やその成果の事業化、研究者や技術者、クリエイターなどの育成、拠点整備等を推進することで、新事業の創出を図り、市場の拡大を目指す。

- (1) グリーン（環境・エネルギー）産業の振興
- (2) 医療、健康・福祉・介護、地場ライフサイエンス分野の産業振興の推進
- (3) 多様な地域資源を活かしたコンテンツ産業の振興

③ 各地域で策定した防災行動マニュアルに基づき大規模災害を想定した訓練を実施した自主防災会数

— (26年度) ⇒ **目標** 全 227 自主防災会 (31年度)

## 重点プロジェクト

- 1 市民ぐるみで健康づくりに取り組む「健康長寿のまち・京都」推進プロジェクト **新規**  
市民の健康寿命を平均寿命に近づけ、年齢を重ねて、ひとりひとりのいのちが輝き、地域の支え手としても活躍できる、活力ある地域社会の実現を目指す。このため、幅広い市民団体や企業等による市民運動組織を設立し、連携を図りながら、健康寿命の延伸に向けた機運の醸成、ライフステージ等に応じた健康づくりの機会の創出、多様な健康づくりの情報発信等に取り組み、市民ぐるみの健康づくりを推進する。
- 2 世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動の推進  
市民生活の一層の安心安全の実現とともに、2020年の東京オリンピック等の開催を見据えた観光旅行者等の安心安全の向上による「世界一安心安全 笑顔でやさしさあふれるおもてなしのまち京都」を目指し、市民、京都市、京都府警察等の連携により、地域の特性、課題等に応じた行政区単位の犯罪防止等の一層の取組を全区において実施し、京都ならではの地域力・人間力をいかした市民ぐるみの運動を推進する。
- 3 東日本大震災の教訓を踏まえ市民ぐるみで進める地域防災力の向上  
女性や若者をはじめ誰もが参加しやすい地域の防災活動や避難所運営訓練の充実などにより、地域防災力の一層の向上を図る。
  - (1) 住民主体の避難所運営訓練の実施と公的備蓄物資の分散備蓄の推進
  - (2) 若者・女性が活躍し、地域から頼られる消防団活動の更なる充実
  - (3) 防災行動マニュアルの策定・実践を通じた自主防災組織の更なる防災力向上
  - (4) 災害への我が事意識を高める防災体験の機会充実
  - (5) 飼い主とペットと一緒に避難できる避難所の受入体制強化 **新規**
- 4 雨に強いまちづくりの推進  
近年多発する集中豪雨等による浸水被害を最小化するため、「雨に強いまちづくり」推進行動計画に基づき、「ながす」、「ためる・しみこませる」、「くみだす」、「つたえる・にげる」、「そなえる・まもる」をキーワードに、ハード対策とソフト対策を組み合わせた総合的な対策を実施する。
  - (1) 河川の整備及び効果的な維持管理による治水安全度の向上
  - (2) 下水道における雨水幹線等の整備による浸水対策の推進
  - (3) 集中監視システムを活用した排水機場の適切な運転管理及び計画的な修繕
  - (4) 防災マップ(水災害編)改訂版の全戸配布
  - (5) 水防体制の強化

## 5 ひと・ものの交流促進とまちの持続的成長を支えるための道路整備の推進

効率的・効果的な道路整備を進めるために、事業の必要な点検、見直しを行ったうえで、安心・安全を確保し、ひと・ものの交流促進とまちの持続的な成長を支えるための道路整備を推進する。

- (1) 北部山間地域の「北半環状ルート<sup>※3</sup>」における道路改良や待避所の設置
- (2) 山科から洛西を結ぶ「南半環状ルート<sup>※4</sup>」の完成に向けた事業中区間の整備推進
- (3) 市街地におけるミッシングリンク（未整備区間）の解消等による幹線道路網の充実
- (4) 京都高速道路の抜本的な見直しと南北方向のボトルネック解消など交通課題への対応

## 6 歴史都市京都における密集市街地・細街路の防災まちづくり

災害時に避難や救助に支障を来す恐れのある密集市街地や細街路において、地域をはじめ、専門家や民間事業者と行政との協働の下、総合的な空き家対策とも連携を図りながら、防災上の課題を共有するまちあるきや課題解決のための意見交換など防災まちづくり活動を促進するとともに、木造住宅の耐震改修や避難経路の確保、防災ひろばの整備などの具体的改善を推進し、京都の風情を生かしつつ、災害に強く、住みよいまちを実現する。

## 戦略を推進する6つの柱

### 柱1 市民ひとりひとりが尊重される社会の実現

- ① 人権文化推進計画に基づく人権教育・啓発の取組充実
- ② ドメスティック・バイオレンス（DV）対策の充実
- ③ 国籍や文化の違いを超えて互いに理解し尊重しあう多文化共生のまちづくりの推進
- ④ ニート、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者への支援の推進
- ⑤ すべての人が生活しやすい社会の実現に向けた「みやこユニバーサルデザイン」及び障害者差別解消法の理念に基づく取組の推進
- ⑥ 障害者等への虐待の未然防止、早期発見、早期対応の推進

### 柱2 高齢者や障害のあるひとなどへの福祉の充実

- ① 地域あんしん支援員による寄り添い型支援体制の充実
- ② 障害のあるひとへの24時間相談体制の確立（障害者地域生活支援拠点の運営）
- ③ はあと・フレンズ・プロジェクトをはじめ障害のあるひとへの就労支援の更なる推進

※3 高雄から京北、花背等を経由し鞍馬に至る、国道162号や国道477号、京都広河原美山線等からなるルート

※4 山科から六地蔵、横大路等を経由し洛西に至る、外環状線や中山石見線等からなるルート

- ⑪ 新たな感染症等の健康危機事案への対応力の強化
- ⑫ 専門家派遣や改修助成など、分譲マンションを適切に維持管理するための支援の推進
- ⑬ 既存住宅の流通やリフォームの促進
- ⑭ 事故や急病から大切な人を救うための救命講習の実施
- ⑮ 緊急を要する人を1秒でも早く助ける救急体制の強化
- ⑯ 焼死者ゼロをめざした取組と市民・地域が主体となった放火されないまちづくりの推進
- ⑰ ICT等を活用した市民との協働による公共土木施設の維持管理
- ⑱ 公共土木施設のマネジメントの推進による安全かつ効率的な維持管理

#### 柱5 いざというときに備える防災・減災対策の充実

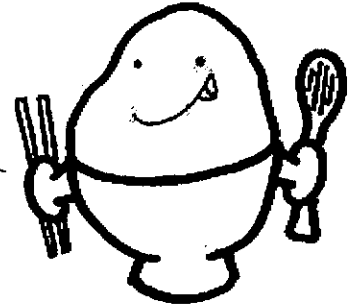
- ① 危機管理センター（仮称）開設を見据えた新たな災害対策本部体制の構築 新規
- ② 市民にも利用しやすい防災情報システム・防災行政無線の整備
- ③ 高齢者や障害のあるひとなど避難行動要支援者への情報伝達の充実
- ④ 市民、事業者と共に取り組む民間建築物の耐震化の推進
- ⑤ 保育所など社会福祉施設耐震化の推進
- ⑥ 定期的な点検、査察の強化による既存建築物の安心安全対策の推進
- ⑦ UPZ内の防護対策をはじめとする原子力防災対策の推進
- ⑧ 観光ボランティアガイド等との協力による文化財防災対策の推進
- ⑨ 学生自らの防災力を高める「京都学生消防サポーター」制度の充実

#### 柱6 いのちとくらしを支える都市基盤の整備

- ① 市民のいのちとくらしを守るための道路、橋りょう、トンネル等の防災・老朽化対策の推進
- ② 路面下空洞調査及び空洞箇所の対策の実施による安心・安全な市民生活の確保と緊急時の輸送ルート確保
- ③ 鉄道事業者と協働で進める踏切道の改良による交通渋滞や踏切事故の解消及び地域の活性化
- ④ 市営住宅ストック総合活用計画の推進による住宅セーフティネット機能の更なる充実
- ⑤ 老朽化した水道・上下水道施設の計画的な改築更新
- ⑥ 地震等の災害に強い水道・下水道施設の整備
- ⑦ 安全・安心な生鮮食料品の流通を担い、市民の健康と食文化、産地を支える中央卸売市場の施設整備の推進
- ⑧ 火災や自然災害などから市民を守る消防署所の整備
- ⑨ 高い耐震性能や災害対策活動の中核機能等を備えた災害対策の拠点となる市庁舎整備の推進

皆様からの御意見をお待ちしています！

パブコメくんは、基本計画策定過程で誕生した京都市の  
パブリック・コメント・キャラクターです。



パブコメくん

### 提出方法

郵送、FAX、ホームページの意見送信フォームのいずれかの方法により、提出してください。

様式は自由ですが、裏面の「御意見記入用紙」を利用いただくこともできます。なお、電話での受付は行っておりませんので、御了承ください。

○ 郵送による提出

〒604-8571 (宛先住所記入不要)

京都市 総合企画局 市長公室 政策企画・調査担当 あて

○ FAXによる提出

FAX番号：075-213-1066

○ ホームページの意見送信フォームによる提出

URL：<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sogo/0000190649.html>

- ・ この意見募集で収集した個人情報については、京都市個人情報保護条例に基づき、適切に取り扱い、他の目的に利用することは一切ありません。
- ・ 提出いただいた御意見については、募集の終了後に、その概要及び御意見に関する本市の考え方を取りまとめたうえ、京都市ホームページにて公開します（個別の回答は行いません。）。
- ・ 提出いただいた書類等については、返却いたしませんので、御了承ください。

### 募集期間

平成27年11月24日（火）～12月24日（木）【必着】



**「はばたけ未来へ！ 京プラン」後期実施計画(骨子)に関する  
御意見記入用紙**


キリトリ

以下の欄は、御意見を取りまとめる際の参考としますので、差し支えなければ御記入ください。

年 齢	歳代
性 別	1 男性            2 女性
居 住 地	1 京都市内 (            区)     2 京都市外